

大阪府退教情報

23年9月25日発行 第35号
発行者:大阪府退職教職員連絡協議会 代表:林誠子
〒543-0021 大阪市天王寺区
東高津町7-11 大阪教組気付
電話 06-6762-7999

9.19 全国高齢者集会報告 ◆東京響の森文京公会堂にて約 1500 名の参加◆

■オープニングは創作和太鼓「暁鼓遊(あかつきこゆう)」<20代から70代までの働く仲間構成されている集団>による力強い和太鼓演奏でした!!



まず主催者あいさつを、日本退職者連合人見一夫会長が行い、野田那智子事務局長から

①人生100年時代にむけたジェンダー平等の取り組みが喫緊の課題で、それに対する政策が急務②2025年には国民の5人の一人が後期高齢者になり、医療・介護・年金を軸とした社会保障の充実が求められる③マイナンバーカードをめぐる様々なトラブルがある中「保険証廃止」の撤回を求めて行く④「平和なくして長寿なし」であり、平和で安心して暮らせる社会を目指す という4つを基本とした基調提案がありました。

■記念講演は寺島実郎さんが「世界の構造変化と日本の未来」と題して行いました!

話は結構難しかったが、要は日本経済がすでに世界の中では埋没している(一人あたりのGDPは2022年世界で31位アジアでも4位という位置にある)ということ再認識すること。また、人口減少も顕著であり、2022年の世帯構造は単親世帯が35%にまで増えていて、今後さらに増える。その多くが高齢者であることなどを考えれば、すでに幻想を捨て多くの高齢者が未来に向けてどう生きるかを考え、どういう施策を求めて行くかを考えることが必須である。との内容でした。その後集会アピールを採択し閉会しました!

<日退教女性の集会>報告

四時半からは場所を日教組に変えて、「日退教の女性参加者の集い」が行われ、30人ほどがあつまり交流を行いました!1時間半という限られた時間内に各県から退職者会でのジェンダー平等の取り組みを発言し交流しました。女性参画がとて進んでいる県から、まわりから刺激を受けつつこれから...という県までいろいろでした!

大阪としては昨年3割以上の女性参画を実現し、参画が数だけではなく、担当の明確化や会議の民主的運営、今まで行ってきたことの根本的見直しなど運営にも及んでいること。今後このジェンダー平等を継続するには「男性には譲る勇気と女性には受ける覚悟」が大切だと確認している。と発言してきました!(文責 脇本ちよみ)

10/23(月)府退教・退女教合同学習会 松本 創さん たかつ G 西 ぜひ聞いて一緒に考えましょう

